

毎年恒例のエコリスフェアは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止します。

～再生品家具抽選会～

5月中旬から申込みを受付けます。
 (6月は随時販売はお休みです)
 ※抽選は職員のみで行います。

- 申込締切：6月14日(日) 13:00
- 抽選開始：6月14日(日) 14:00



対象家具です

6月の体験教室

6日(土)	新聞エコバッグ作り	10:00～11:30
7日(日)	衣類のリフォーム相談	13:00～16:00
15日(月)	パッチワーク	13:00～16:00
20日(土)	パッチワーク	13:00～16:00
21日(日)	ガラスでアクセサリ作り サンドブラスト	10:00～11:30 13:00～15:00
24日(水)	廃食油石けん作り	13:00～16:00
27日(土)	衣類のリフォーム相談	13:00～16:00
28日(日)	傘布マイバッグ作り	13:00～14:30

～標語コンテスト～

「環境、ごみ減量、リサイクルに関する
 標語募集」の応募作品を厳正に審査し、
 最優秀賞と優秀賞は館内に掲示して
 発表します。

【問い合わせ先】 市リサイクルプラザ啓発棟 (休館日：火曜日) 下波田町 490 番地 ☎ 26-7474 ㊚ 26-7475
 ㊚ plaza-kei@maro-v.jp ホームページ <http://www.m-sougou.net/plaz-kei/index.htm>

益田市のホストタウン相手国

Part. 18

アイルランドってどんな国？じゃがいも編②

アイルランドの主食のひとつである「じゃがいも」。今回は、どうしてアイルランドでじゃがいもが食べられるようになったのか、また、普段どんなじゃがいも料理が食べられているのかを紹介しました。

今回は、アイルランド国民を襲った「じゃがいも飢饉」について紹介します。

🍀 「じゃがいも飢饉」の発生

19世紀半ば、アイルランドでじゃがいもの不作が数年続いた結果、未曾有の大飢饉が発生し、当時の人口約800万人のうち約100万人が飢えや疫病で死亡しました。



ダブリンにある飢饉の追悼碑

🍀 世界中へ移住した人々

大飢饉をきっかけに、多くの人々がアメリカ合衆国など海外へ移住し、その数は約200万人ともいわれています。現在のアイルランドの人口は約492万人(2019年アイルランド中央統計局推計)と、いまだ飢饉前の人口を下回っています。



ジーニー・ジョンストン号 (移民博物館)

🍀 あの人のルーツも実は…

アメリカへ渡った人々の中には、ケネディ元アメリカ大統領の曾祖父やオバマ前アメリカ大統領の母方の曾々々祖父達もいました。オバマ前大統領は2011年のアイルランド訪問時に、その故郷マネゴールに立ち寄り大歓迎を受けました。



※駐日アイルランド大使館資料より抜粋

問 市五輪キャンプ誘致推進課 ☎ 31-0342